

みらい・じょうばん

～常磐まちづくり通信 vol.3～

常磐まちづくり通信“みらい・じょうばん”は、市と地域の皆様で進めている“まちなか”（市街地）の再生に向けた取組みを、皆様にお知らせします。

写真：湯本温泉神社（市撮影）

“第3回 常磐地区まちづくり検討会”を開催しました！

第3回 常磐地区まちづくり検討会

- 場所 常磐公民館
- 日時 令和2年11月18日（水）18：30～
- テーマ 「計画素案の検討」



写真：検討会の様子

常磐地区の市街地再生に向けた取組みについて、観光や商業、教育、文化等の各種団体の皆様と行政の担当職員で幅広く議論するため、検討会を開催しました。（計39名）

今回は、これまでに議論してきた内容を整理し、事務局にて作成した「常磐地区まちづくり検討会における計画素案」について、意見交換をしました。

常磐地区まちづくり検討会における計画素案は、次のとおり。

常磐地区の主な現状・課題

現状

湯本駅前の低未利用地の増加
空き地や駐車場が増加。子どもや若い世代が集まる空間が少ない。



写真：解体が進む市営天王崎団地

観光業・商業の低迷

観光入込客数は減少。
郊外大型店舗へ買い物客は流出。



写真：商店街の様子

地域資源を活かしきれていない

駅周辺にある歴史的資源や観光資源の相互連携が不足している。



写真：湯本温泉神社

公共施設の老朽化

公共施設の多くが老朽化している。



写真：公共施設に入った亀裂

課題

低未利用地を有効活用した
交流空間の創出

商店街の賑わいの再生

温泉とフラを感じられる
観光地としての魅力向上

将来を見据えた公共施設の
再編



基本目標 『温泉とフラ』を活かした活力と魅力あふれる市街地の再生

目標①

まちの玄関口としてふさわしい湯本駅前交流拠点の創出

目標②

地域住民や観光客が行き交う商店街の賑わい再生

目標③

温泉や歴史などの地域資源を活かした歩きたくなるまちづくり

各整備方針

多世代が集う交流拠点の形成
〔公共施設の集約・複合化〕

温泉とフラのまちの玄関口としての景観整備

商店街のにぎわい再生

温泉街の滞留拠点の形成

歩きたくなる沿道景観・道路空間の形成



検討会参加者からの御意見

- 市営住宅天王崎団地の解体が進んでいる駅前の再生を優先して実施すべきではないでしょうか。
- 地域の皆さんも、市街地が活性化することを望んでいると思います。短期・中期・長期とロードマップを作成したうえで、スピード感をもって事業を進めてほしいです。
- 湯本らしい商業と観光を掛け合わせたまちを作ってほしいです。 …など

声を聴かせて！市民アンケート調査を実施します！

常磐地区にお住まいの20歳以上の皆様（500名）を対象に、今後のまちづくりに関するアンケート調査を実施します。

アンケート用紙が届いた際には、お手数ですが、御協力をよろしくお願いいたします！



写真：常磐地区のまちなみと常磐支所

常磐まちづくり検討会 今後のスケジュール

開催日	検討項目（案）	
第1回（8月27日）	地区の課題解決に向けた優先的な取組みの検討	済
第2回（10月1日）	市街地再生に向けた具体的な取組みの検討	済
第3回（11月18日）	市街地再生に向けた計画素案の検討	済
第4回（3月下旬）	市街地再生に向けた基本方針（案）のとりまとめ	

問合せ先 いわき市 都市建設部 都市計画課 都市再生係

電話 0246-22-7513（直通）

E-mail toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp